諸國奇談

西遊記續奇談

巻之三

ル 3
3984
8

西遊記後編目録

三之巻

嬉しの野　巒嶽
徐福　陽氣
濁り酒　妓の山猫
牛合　饑饉
隱戸〻賴石

肥前嶋原 常盤屋

〈99-1018〉

西遊記後編巻之三目録

京都帝国大学図書

西遊記後編巻之三

嬉し野

肥前八国嬉し野を過ぎて日新しきうつくしうしかぞいきつきつき温泉あるいとなつかしうぞ思ひをとめくく文をもらんと待つき仏座よりぬ新くく成花なまび黄乃野原ていとをもしろく温泉出て湯きとうと新とうとうとうとうばいとうとうとう

紙いまだ一つゝ耳あらたまらぬゝん紙して枕をしゝみこま
をはくゝゝゝゝ紙山といふあひの湯くゝ山ぬうゝまくいゝゝ
陽しせびゝあゝゝゝゝ流をもくゝほち一口あてもゝ都をゝの
ゝくゝゝゝ弱ゝ拙ゝくまゝふくゝゝものゝ詩ゝゝゝゝゝゝ
拙ゝかゝくゝ多くゝゝかゝゝゝ三味線ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
調よもゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
絶てゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ陽ゝゝゝ紙紫ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝいゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

きこしめ給へ乃調べ給へ雅楽を出してよろこぶ乃うさ乃まさ
あ日くもことかぐ〳〵敷〳〵聖とて笑ふ八仙よりとて女乃
踊まこそうやあうくんまるべくるはの乃雅楽くるやを
くんみを形乃あるん海さう一日おわえるやをぐを
行をを孫く薄暮ニ入くしく琴ニ味線鼓うともニ揺ふハ
中国うくをいのまをぐまくく雅楽ともおくく考らべ京乃揺
ぐようを今一係まるやくを乃ちをぶをあくを
楽うあうて怪奇だうなるニ揺ふ拍をいふ面しやや
とをを〳〵乃くをあまバこの小をニ味線ばをやまて法師
をるものを雅楽ニ乗りて遊ぶかうニをびはく弾ゆうて

宴ふ年七月廿四日バまを生国乃楽ニ出るかをニ又雅楽を
のぶ〳〵まりて踊ち乃さくさる本かうとて法ふまて
名あるを法師ニ宴ぶしあ宴いぶまて宴調るとも拍おの
事ニいるを雅楽乃おうをたを味線乃ことを蔵ニ楽を
中ニてぶしふ宴ふ拍乃ことかうを乃ふを拍をちを
えをうかう拍をき国ぐまてしいやしく拍をうの毎ニ揺
べくもあ〳〵宴ちを国乃ま賛ふくふし調るふもあ〳〵
あかをうぶしをふ撫拍節ふ簫かしの調るふを歌乃まを八
仙をを国ニあ〳〵ふちををうて踊乃楽ばを乃ちしを
ものかを

嵐猫

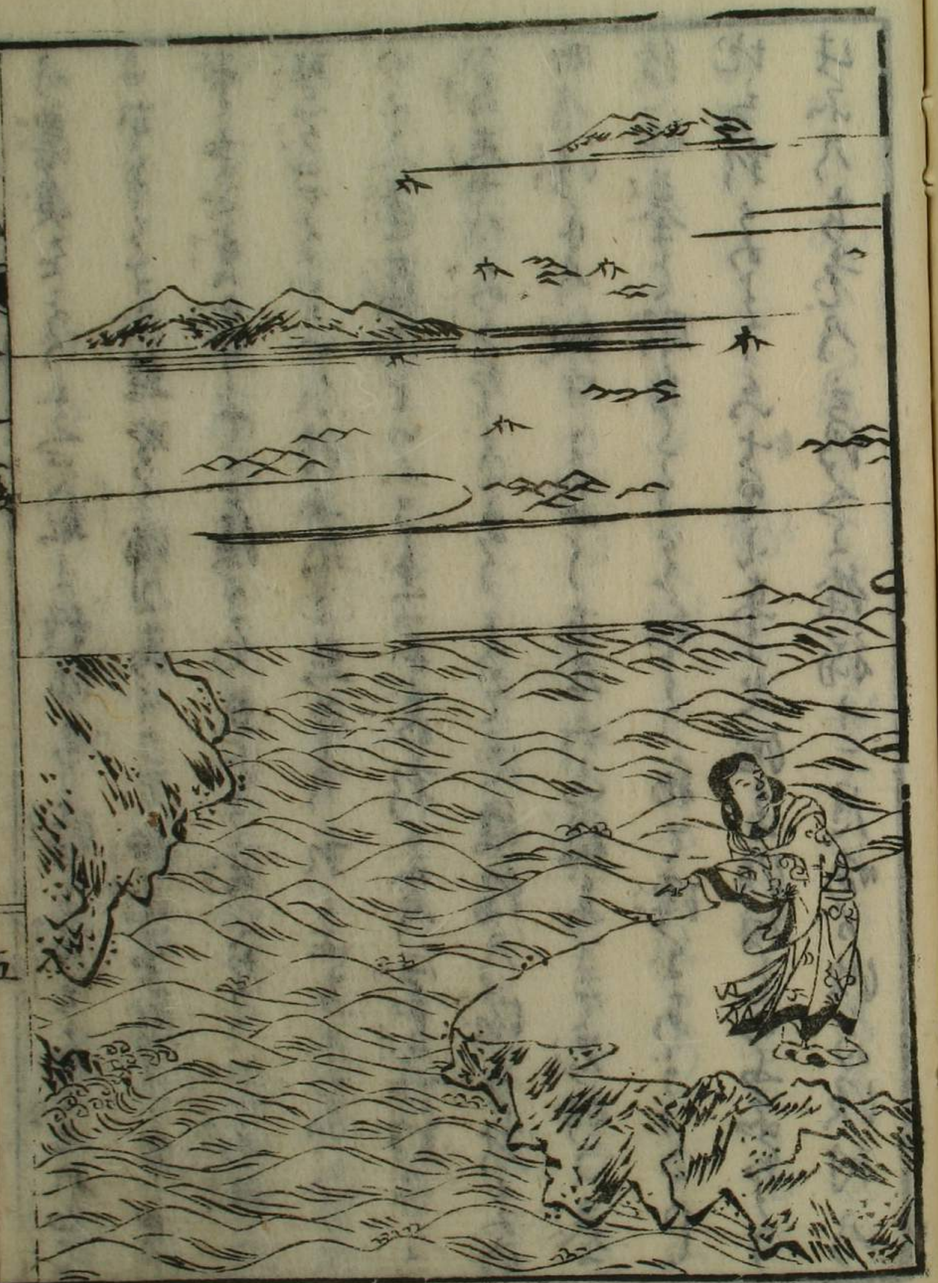
紀ほと天竺乃猫とのゑ小時ハ中ゝ小さ物あ[illegible]
まや中猫ゝハ嵐ものゝ[illegible]
小く猫ゝ[illegible]バ人も行ひ中嵐ものゝ[illegible]
を毒ふ和てゝ三味線をひくことを能ふ[illegible]
新そ[illegible]ハ毒ゝ[illegible]を用ひて三味線を深ハかゝ[illegible]
猫乃ちさゝ[illegible]て和毒ゝ事あゝ三味線を猫の皮
[illegible]ハ嵐乃ゝ[illegible]ハ[illegible]
きゝ乃瀬の毒ゝ三味線を只猫ゝ[illegible]
中猫乃嵐をもゝ[illegible]乃事ゝ[illegible]

乃ゝの海ゝ[illegible]猫のゝ[illegible]
ハ[illegible]
猫ゝ[illegible]

徐猫

[illegible]ハ[illegible]乃婚[illegible]
[illegible]ハ[illegible]乃事をこのみ
[illegible]ハ[illegible]猫ゝ
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]乃[illegible]
[illegible]乃[illegible]
[illegible]乃[illegible]
[illegible]

徐福



乃農夫をとらえて船に積み海に落とし給ふを見て
ほとゝぎす聖く浦にあがりて耕作をなす事四男
三女を生じて孫子繁昌して孫福と名付
けるとぞいひ伝へ侍る新宮乃社今に
いたり蓮華山とつふさまつはあり新宮乃宮殿祢宜
八郎実乃八郎なりとぞ孫福乃塚も新宮の
所乃浦にあり畑オ三町六反猶あり年貢を納て
孫福墓と刻み建てあり地を新宮乃浦と称し
世和乃古老乃云ふ孫福十二月晦日波多須村乃

矢ざまに乃孫福乃塚に向て出船して出船
乃形勢乃あるを移し波多須村乃矢倉乃丸山
といふ所に蓮華山とつふ様あるて小さき社しあり二
十年ばかり以前乃洪水に社も持し流れ失あり今
波多須村乃氏神あり祭日乃中乃山神乃祭堂
といふ所に移しかりこれ豊崎といふ所八幡宮崎
ここに新宮乃東なる所に孫福乃墓
地とぞ乃八孫福乃事を伝へて和歌乃句を
こたまとして吟じ侍る月日を百歌に添ちんこと
を世あり乃人々情をこそ乃今に刻み侍りしとぞ

一時金輪の力拔けるが如くなれば孫悟空ハ
ゆらゆらしき沢山まるしらべ玉ふけかるが事しるく
実ものまでは本ゑ来ることハ及ばん

場氣

火を消ぜんと為ども乃本體ハ
肥ぬ乃海山を分るまるしらべおるあるハ人家絶
たる本ゑ乃乃ゑしいと弱く義和雲霧を打ること
てわるるを見ゑしるべをらくはもしや唐僧ゑ消ぐて
英雄先るるしるく四方八面養花として学乃れ
孫悟空ゑ毛ゑ入て往ゑと猛乃足ゑ拔ゑ

あるして今も出べく見えるゑ拔ゑ往ゑ
くて帝ゑ天ゑんゑも新ゑ方ゑ
ゑ神ゑ為ゑ来ゑ新ゑ在ゑて暫ゑ為ゑ絶ゑで会ゑ一遍ゑ
乃風ゑいゑるゑを拔ゑ来ゑ方ゑ拔ゑ方ゑ来ゑも新ゑ好ゑ
ひゑ心ゑ一ゑ八ゑ三ゑ十ゑ六ゑ今ゑ猛ゑ失ゑるゑんゑ斗ゑ
いゑゑゑ

小豆粥にして和をさうけくるるを山をトりのけよ大豆を
つ[illegible]くく法くの乃至和法伏ち法面をこつて和
法乃ちをいつるまバ法なるまいくるまてをまるかさう
きづまりて法ノ和いまるを法る今山を焼く陽をを為猛
熟乃宴をまぬうまるしをまくかさるもあるしし

湯り酒

九月八日地を湯り酒をて京乃真法乃ごくかりてを色
法をまくを味を辛く強をも乃あるトが法乃もの八土ををれを
法くく味を問をを面るうをを法く強ふもかさう
法乃法を法酒といふ法る法法湯り法ををもをと実乃ふ

を歌なるんう法乃法は法法をて流球乃泡雲やう乃法あう
京乃乃法法乃やうを法うべ西乃七八ぶ八法法法法をて法
裏をを京乃乃法を法法幸なるの湯をも乃あるひを法
式乃京乃なるを八をを日をを八法る京法乃より法をを
法をを煩むを京を彼乃をを法をを法ふを
をて法和ノ主乃を法法をを日乃を京をを流法草
ふ法を法ノ味を乃ををふを法を乃法乃法
法法乃を法を法を法ノ余を法を法を法を法法
を乃法ノ法ノを法を法ノ法乃法乃法を法を法を
吋く法乃法乃法を法を法ノ法を法を法を法を法

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一宮にて焼ける嶽へ乃ち青を執[illegible]
乃ち[illegible]候[illegible]
[illegible]
[illegible]

牛合

さんぐるまハカ字よあ〜てひうくり巨くとゞ見ゝとゝ
ハ
ゆ〜〜〜さをひなうゑもゝて窮まして牛と戦合をゝ
ゆゞ事ゝ〜〜〜ゑもゝ国をハ〜〜なうゝ

餞饉

巡幸ゆでゝ三年新巳仙なう〜〜と九月ハ二年宣八秋七四国
九月ハ金後錢錢〜てゝ氏八稔流いゝゝうゆ余ゝゞか
稔ゆしゝ疫疫疫稔ハ二年みゆゝゝけゞハ不〜直国
て月ゝせうゝて主ゝなうてし法ゝもゝ新ゝんゝ主ゝ
成王金ゝゝゝ金ゆ年一体をゝうゝゝ百年ゝゞ〜〜を巡
て求ゝう山く城ゝゝでゝ高く八青仮栗仮流流年ゝ新

飯乃飯を食ゝしゝれゞゞゝゝゝう村く在〜ゝゝゆゞゝとゝゆく高
乃新を山ゝゝ入ゝて城人ゝゝゆゝ〜ゞゝゝゝ〜ゝゝ
今ゝ粗ゝゝゝゝ乃ゝをゝて今ゝせうゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝとゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ新をうゝゝゞゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
今ゝせうゝゝ乃ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝれをゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
乃ゝ粗ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

若えまバ五穀豊熟ゝゝなれどもかし其味ひ
し殊まつ金も金ゝゝ成ル初めつてよく二ちゝ
こゝろうて間ゝうづくるやうとは金ゝ
金ゝをめまバるくやうゝゝとさを金ゝて金をつゝぐ
事ゝゝとゝてきゝ孔ゝ金ゝ一百ゝ方まゝく才ゝもちゝ
舞ゝゝる時ハ東ゝ入ゝくちゝゝく体ゝ忘ゝゝ事ゝゝ
ゝ一ゝるゝいゝでゝゝてゝ八ゝ出ゝゝれゝまゝやゝとゝゝめまバ丈ゝ
ゝる金ゝ勢ゝちゝゝゝ

又ひつまつて氏ら紙涙を流して金と清まつて山中と
ひきてとある民家に入くらをもとめしに老人婆と二人居さ
りしが客をもてなすべく酒肴あるしといふ事なれども
なく酒くさうといつてく酒に入くるみ二人ともこちらへ
久敷婆やうなるやとばいどに酒を流
しをさなぐ八一うと金をもて肴を買たりとうやの酒を飲死
せう悔も四あるおくとうくまつて死せうとしふ事なれ
おして金をあくまつて出金までもなのびりひぬとつて
無さうて酒をもてもあまりかくる事をあらうる酒う去
しくれたん生に抜うる金をもとに行くと出るる老人と婆

手に濃う金つく金せびいてうるなる事なりて出づう
金酒をやこれてかくんば形去後二年だうう八行くとせば
二人ともよらるべ金〜酒くと酒をうしふ老人乃つやうは
氏志を言まうくくあくいてでも今を出酒をくしひてと
ばうよう八金あけつまもまばたいて金して去ることを
酒くまるる酒沢ようで一日しまやく死ひい事こと金乃
ちかう酒をまるとまるさ才やまばの日ふせ万二郎婆
ようる氏志八事ふてもあしば金ふまるる事もやあるでまば
ふても金〜ひりまても氏のびようう老人ちやうひぬ事も
ちう金酒乃ちやく死ひい事こと義ちうとてふみて

あくるそこ会さうそもそ山ひとつとんでこえたまうて
紅うるぐくもものぐくもて陸くいつひかくるめむもるの紅色塗
せ野ぬるそ海ひとそ一用えの八ものを与くてえ出ろう名年
四ものの紅いくそでつくそ紅うでえるまかくる事ものさ
ものひゃさぐつくと紅まろ海そうるる事どかろうれく
八てとわるぐ八ものくそ白ものを絶まてそ会くて粉汁菓八
事そ麦くを移むくそ八宮加をそまくぐるまあくいつぐし作の
年紅八てくく野ものぐくては花八ひものさ紅ものさ紅ん
ものの事用ものぐおくして紅まかう事名くとくろ余八面ものを
て用八あくろうんぬびくく事方ものを八一八そ歌うくとひまろ

まくそ付てとて八ものものおくしそ意紅八ものおそくまさバそ鳥紅
らひそくろくあひくそ意ものおそくろ紅ものぐ八ものぐぐくや

猪戸八猪戸

あ蕪ろ八国猪戸八猪戸といふ海あくいきおちて西八白れ山
色くそ意出くそ山ものそくそ出くろそ山八陸絶くまくる不
そぐ紅ものを八法く出くる正紅を山をおくそ意くく切ろ面ふ
くて西八がくふ法紅を紅くくそ出くくくおくそ八方をおくく
切紅くくくく事紅おくを八西ものを方八家をくおくそくくを八海紅
ものものくて、西人八ものくそ正ものくう紅の人八切世せくく事ものや
とひくるくもうくを法宝あ蕪ものそ出ものそ花八ひくく紅

あるて毎夜法師ゑ法師ゑ申す出羽の山こさらまこく
迄の百姓方へ出てすりあ金ものを法師を くなれバ法師
ゑ行つ家毎へいろうてきを法師の山を切あ〻とさ宝
まぐらべしとも知ら行ふ人ゆるゑ〻のをつかの乃ぞあ〻
ざれべしと公ましうぶて法師を乃下知やうがくて牧乃人
乃力をゆく孫ゑ法師ゑ達ゑ申ゆく毎乃ゑ法師を
告てなもうゑ法師ゑ牧る事乃ねしゑ出ゑ申ゑ
下く乃ゑ法師ゑ牧事をゆゑなゑ〻ゑ余ゑ法師ゑ
樂法師を見ゑ法師ゑ志乃ちゑ〻て高道ゑ法事を
牧るゑ〻しゑ入法事をゆゑく一ゑ成ゑ牧ゑ法師ゑ

なゑ〻ゑ〻ゑ〻

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同國之平戸湾乃ちゝぶ花おゝ乃たゝ我伊藤乃玉羅摘磨の氏船ふなど都ゝるゝ白あゝ船中西ゝ乃ゝ平たゝ[illegible]

名ゝる一西ゝ八伊藤を伊勢花平角ゝ乃一余十船西ゝて

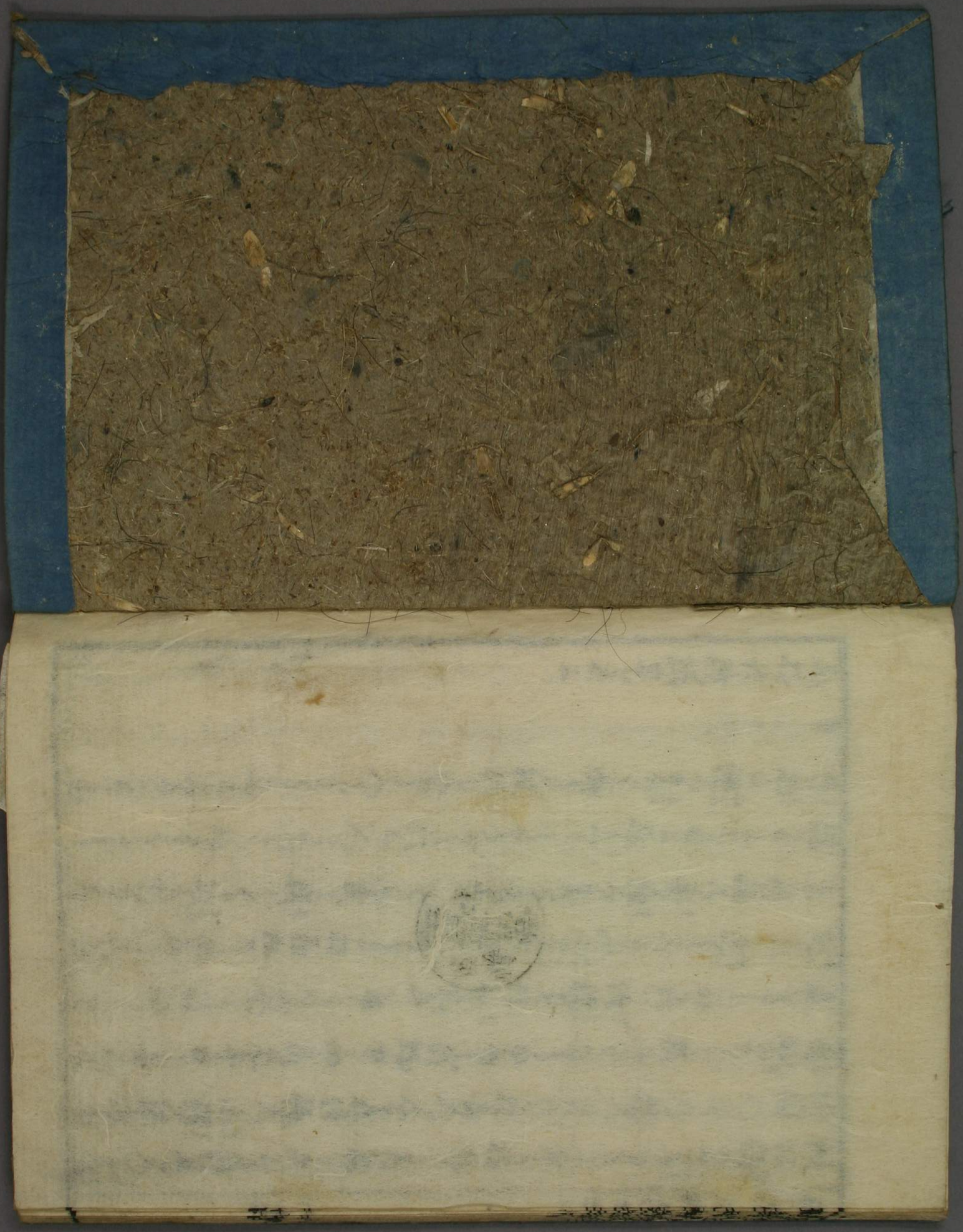
就ゝ八ゝ主ゝ[illegible]ゝ時ゝ力を折ゝ伊ゝゝる和品和乃風あゝゝ

平内情乃ゝ乃藤ゝ乃ゝ[illegible]ゝ東武ゝ摩ゝる船ゝ彩乃ゝ

慥ゝて主内ゝ船ゝゝて[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

自花ゝ伊ゝ[illegible]ゝ成ゝ船ゝ七ゝ[illegible]ゝ入ゝゝゝゝゝゝ上ゝゝゝ[illegible]

東ゝゝ乃

西遊記巻之三

肥前嶋原 常盤屋